

敬老の日
9月14日(日)・15日(月・祝)



長寿巻き

長寿祈願を込めて厳選したネタを入れた

1本 **1,500円** (税込)



西田鮮魚店

072-5246

御用聞き便専用番号 ☎090-7125-5489 (旧庄原市内はご自宅に配達)

※御用聞き便は火曜日・木曜日・日曜日のみの配達

『拝啓 おいちゃんへ。お元気ですか？またまた暑い日が続きますが、身体には気をつけていつも元気なおいちゃんでおつてーよ。また遊びに行く時には、西田鮮魚店の寿司と刺身を買って持っていくけんね。』
皆さんこんにちは！いつも元気いっばいの西浦です。
今回は敬老の日で、僕もおいちゃんへの感謝の気持ちを込めて広告の文章を書かせていただきます。
皆さん、僕はずっとバス釣りをしていますが、先日、西田鮮魚店の先輩2人と僕でイカ釣りに大田市の方に行きました。僕も初めてのイカ釣りだったので、釣れるか心配でした。先輩達は早くに釣られて、僕はまだ来ない...『汗』辛抱して釣りをしたらイカが釣れたんです！めっちゃ嬉しくて、現時点でハマリ中です笑。
僕のおいちゃん家は福山市内海町にあるんですが、海が凄く近くなので、イカを釣っておいちゃんにも食べさせてあげたいもんです。
さてさて！ここからが本題です。長々と雑談すいません『汗』。今回の広告は『長寿巻き』です。この長寿巻きには色々な具材を入れてあります。
海老...腰が丸く曲がるまで長生きをする
山芋...長く食べると耳や目がささくなり身体も軽やかになる。
鰻...精力増強！スタミナ抜群！美味しさ満点！
鯛...日本ではとてもめでたい時や祭りの時に用いられます。
鮪...タンパク質や鉄分やビタミン類がとても豊富で健康に良い。
長寿祈願を込めて厳選したネタを昆布で巻き上げました。おいちゃんには長生きしてもらいたいです。おいちゃん家に行った時には、沢山のイカを釣ってご馳走したいですね。皆さんもおいちゃんやおばあちゃんに、長寿祈願で西田の長寿巻きをプレゼントしてみてください！

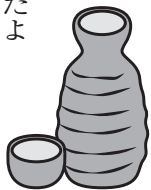
『昔たくろう 今まゐと』

鮮コーポレーション(株) 代表取締役会長 西田 昌史



I ありふれた人生

♪近ごろめつきり酒も弱くなり 色気もとうにご無沙汰で
昔のことを思い出しても ゆうべのことは忘れてる
染みの店にも足が遠のいて かわいいあの子のお誘いや
誰かに遊びに誘われたなら 断り切れないおれがいる
ああ浮世の義理もしがらみも すべて捨てたら気楽だろうが
そうはいかぬが人生だから ぐっとこらえて苦笑い
それでも自分は自分さ 誇れるものはないけれど
ありふれたありふれた人生それでいい



親しい友がきょうもまたひとり 遠くへ行ってしまったよ
真っ赤に燃えたあの夏の日 若さはすでにないけれど
ああ泣かせた過去や裏切りは 胸に刺さった青い棘
戻れないのが人生だから 悔やむことから逃れない
それでも自分は自分さ 自分らしく生きりゃいい
ありふれたありふれた人生それでいい

II すきもとまさと

2017年(平成29年)の紅白歌合戦で『吾亦紅』を知った。
亡くなった母親の墓参りに何年かぶりに来て、その親不孝を詫びる
中年男の心情を歌う歌詞が沁みた。そして、すきもとまさとの、その
しわがれたブルースっぽい歌声が耳に残った。CDを買った。
すきもとまさとは1949年生まれの76才。3年先輩だ。その分、
私の先に行く。そんな彼が歌う『ありふれた人生』の出だしが響いた。
「近ごろめつきり酒も弱くなり」。そういえば、いつの間にか酒を
飲みに出ることもなくなった。たまに、外で食事をして、まず二次
会には行かない。10時を過ぎたら家が恋しくなる。もっとも、同級生
たちの中には、まだまだカラオケで盛り上がっている元氣者もいるよ
うに聞くが……。

「色気もとうにご無沙汰で」。昔は……。
「誇れるものはないけれど ありふれた人生それでいい」
すきもとまさとがグッとくる。

III 青春の詩

♪喫茶店に彼女と二人で入ってコーヒーを注文すること
映画館に彼女と二人で入って彼女の手を握ること
繁華街で前を行くいかした女の子をひっかけること
素敵な女に口もきけないでラブレターを書いたりすること
ゴーゴークラブで汗だくになって踊りつかれること
グループサウンズに熱中して大声上げ叫ぶこと
フォークソングに痺れてしまつて反戦歌を歌うこと
セックスを知り初めて大人になったと大喜びすること
親に隠れて酒たばこ睡眠薬はては接着剤シンナー遊び
アルバイトばかりで学校にも行かず適当にやること
飛行機乗っ取り革命叫び血と汗にまみれること
勉強一筋他には目もくれず我が道を行くこと
スポーツこそ男の根性づくりだやれサッカーやれ野球一年中真っ黒
かっこいいスツカっこいい車プレイボーイと呼ばれること
パチンコ麻雀競輪競馬賭け事専門のギャンブラー
一日中を規則どおりに生きて他になんにもしないこと
ジュリー、ショーケン、欣ちゃん
孤独になって一人で悩み一人で考えること
自由きままに思ったとおりなんでもやってみることに

さて青春とはいったいなんだろう
その答えは人それぞれで違うだろう
ただ一つこれだけは言えるだろう
僕たちは大人より時間が多い
大人よりたくさん時間を持っている
大人があと30年生きるなら 僕たちはあと50年生きるなら
この貴重なひとときを僕たちは何かをしないではいられない
この貴重なひとときを僕たちは青春と呼んでもいいだろう
青春は二度とは帰ってこない
みなさん青春を いまこのひとときも僕の青春



IV よしだたくろう

拓郎は今、79才。2022年、76才で引退した。
『青春の詩』が出たのは、1971年(昭和46年)。私は19才。
横浜から帰省した友達を持ち帰った拓郎の顔がイラストのように大
きく描かれたLPに心をわしづかみされた。
今、こうして73才の私が歌詞をなぞってみると、あのころの自分が、
あのころの仲間たちの姿が彷彿とする。

高校を卒業して友達の多くは大阪、東京に行った。取り残された私
はただただ寂しかった。そんな時に出会った『よしだたくろう』は、
都会に出て行った友達とのわずかな接点だったのかもしれない。
この『青春の詩』の歌詞には行ごとに「♪ああそれが青春」と続く。
まさに、1970年代の青春の形がここにあったような気がする。

私の20代は『よしだたくろう』とともにあった。
『人間なんて』『元氣です』『伽草子』『今はまだ人生を語らず』
『明日に向かって走れ』。このころのアルバムはみんな買った。

V たいした男じゃなかったけれど

「あと何年生きるんじやろうか？」誰に問うわけでもなく考える。
父は57才で、母は93才で亡くなった。もしかしたら100才まで生
きるのかもしれない。寿命なんて考えてもわかるもんじやない。だか
ら考えない。たぶん、みんなそうだろう。
ただ、一応の目安というか、ここまでは元氣でいたいという目標め
いたものはある。85才だ。

私は34才で結婚した。ちよつと遅めだ。50年目の金婚式は盛大に祝
いたい。そう思っている。だから85才。

結婚式は広島島の並木パラストで挙げ、翌々日庄原グランドホテルで
も挙げた。もちろん花嫁は、悦子一人だ。たくさんの人に祝っても
らった。あれから39年たった。

ありふれた人生だった。たいした男でもなかったけれど「よう、こ
こまで来た」とも思う。誰しもそうだろうが、平穩無事な人生なんて
ありはしないだろう。

『ありふれた人生』の二番の歌詞が突き刺さる。

たくさんの人に祝ってもらった結婚式の、その結果を金婚式で確か
めたい。そして、たくさんの人にお礼を言いたい。そのために、85才
まで元氣でいたい。悦子と一緒に。

50年前は『よしだたくろう』のLPが傍らにあった。今からの12年、
『すきもとまさと』のCDがあるだろう。いやユーチューブかな。
こんなことを書いたからといって、けっして弱気になっているとか、
そういうのではない。ただ、今の自分の思いがこの歌にあるから、そ
れを知ってほしかっただけだ。

騙されたと思って聞いてほしい。『すきもとまさとユーチューブ』
とスマホに言ってもらえばいい。そうでない人は矢吹さんとカラオケ
に行つて歌ってもらえばいい。矢吹さん十八番のすきもとまさとの
『冬隣』という歌が沁みる。夫に先立たれた妻の心情を歌っている。

VI 別れの日に

♪振り向けばはるかな道を おまえと歩いてきた
ときには泣かせたこともあった 許してほしい
いつかくる別れの日には おまえがしつかりして
みんなでこの俺肴にして 酒を飲んでほしい
たいした男じゃなかったけれど 静かにおまえを愛した
俺にしかない歴史といえは おまえと生きたことだけ

生きるのは時にはつらく なんにも見えなくなる
それでも生きろと 子どもたちに伝えてほしい
いつかくる別れの日には おまえは時を止めて
みんなが帰った家の中で ひとり泣いてほしい
たいした男じゃなかったけれど なんとかお前と暮らした
俺にしかない歴史といえは おまえに逢えたことだけ
たいした男じゃなかったけれど 静かにおまえを愛した
俺にしかない歴史といえは おまえと生きたことだけ

金婚式まで11年。100才まで27年。先は長い◎

2025年9月14日